

平成4年11月11日

『おばあちゃん原宿』巣鴨地蔵通りに

生涯学習と安心の拠点

たいむ

## 巣鴨社会教育会館『中山道 待夢』と 高齢者住宅『巣鴨つつじ苑』が完成

たいむ

11日、豊島区立巣鴨社会教育会館(愛称『中山道 待夢』)及び併設の高齢者住宅『巣鴨つつじ苑』の落成式が、地元住民や関係者ら約200名を招いて、同会館内の多目的ホールで行われた。オープンは14日。

生涯学習時代における区民の学習文化活動の拠点である社会教育会館は、区内で6館目だが、この施設は、とげぬき地蔵の縁日で賑わう旧中山道の巣鴨地蔵通りに面していることから、建物の外観を白壁、日本瓦使いの和風に仕上げ、さらに長屋門風の玄関前には、大名時計からデザインした石造りの『からくり時計』(高さ約2メートル)が置かれ、街のイメージとの調和が図られている。

また、これまでの一般的な社会教育会館の機能の他に、土地柄を生かし、郷土資料の展示コーナーや、利用者の作品発表の場ともなるミニギャラリー、さらには可動式舞台や照明設備をもち、コンサートなどにも利用できる約120名収容の多目的ホールなどを備えている。

『中山道 待夢(たいむ)』という愛称は、周辺の各町会・商店会の有志によって組織された巣鴨社会教育会館開設イベント実行委員会が一般から募集し、188点の応募の中から審査の上、同会館のシンボルである『からくり時計』(=時間=タイム)を表し、会館のイメージにも良く合っているとして決定されたもの。北大塚在住の主婦・小林和子さんの作品。

なお、21日～23日の連休中には、オープニング・イベントとして、世界的に活躍中のハープ奏者・篠崎史子さんと、フルート奏者・中山早苗さんによるコンサートや、講演会、寄席などが開催される予定。詳しくは、同館☎3576-2637へ。

また、併設の『巣鴨つつじ苑』は、区内で3棟目の高齢者集合住宅で、単身用13戸が社会教育会館の2～3階に配置されている。これまでの高齢者住宅同様、段差を解消、手すりの設置及び、緊急通報・安否確認の自動装置を完備。入居者は7月に募集、9月に抽選(約20倍)の上、すでに決定している。

豊島区では、平成12年までに400戸の高齢者住宅の建設を計画しているが、今回完成した『巣鴨つつじ苑』で通算70戸を整備、さらに今年度中の完成をめざして、現在長崎6丁目に建設中の『長崎つつじ苑(仮称)』(単身用28戸・世帯用2戸)を含めると、ちょうど100戸を達成する。なお、『長崎つつじ苑』の募集は、来年1月を予定している。

【施設概要】所在地	豊島区巣鴨4-15-11
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
敷地面積	566.42m <sup>2</sup>
建築面積	317.00m <sup>2</sup>
延床面積	1,304.03m <sup>2</sup> [内訳]
	社会教育会館 562.84m <sup>2</sup>
	高齢者住宅 622.89m <sup>2</sup>
	共用部分 118.30m <sup>2</sup>

詳細 巣鴨社会教育会館・社会教育課管理係  
高齢者施設整備課